

野生の山菜類の放射性物質検査結果について

県内で採取された野生の山菜(特用林産物)について検査したところ、いずれも基準値以下でした。

1 検査結果

採取日	品目	採取地	放射性物質の濃度 (Bq/kg)		
			セシウム134	セシウム137	計
6月21日	たけのこ(マダケ) (野生)	渋川市 (※旧渋川市)	検出せず (<9.64)	74.6	75
6月21日	たけのこ(マダケ) (野生)	渋川市 (※旧渋川市)	検出せず (<9.57)	38.8	39
6月27日	たけのこ(マダケ) (野生)	利根郡 昭和村	検出せず (<9.61)	11.3	11

- ・基準値：放射性セシウムの計 100Bq/kg
- ・放射性セシウムの計とは、セシウム 134 と 137 を合計し有効数字 2 桁に四捨五入したものです。
- ・「検出せず」とは、同欄下段の () 内に記載した検出限界値を下回ったことを示します。
- ・分析機関：株式会社 食環境衛生研究所
- ・分析機器：Ge 半導体検出器
- ・最終検査日(結果判明日)：令和3年7月8日

※渋川市(旧渋川市)の「たけのこ(マダケ)(野生)」については、出荷自粛が継続されています。

2 今後の予定

今後も引き続き検査を実施します。